

今北 義明 議員
盟政会



地域活性

「地域おこし協力隊」
事業再開の可能性は

議員 高齢化や人口減少が進み、農村地域力の低下が懸念され、課題となっている。農村部の起爆剤としての「地域おこし協力隊」事業再開の可能性について、市の見解を伺う。

農村地域活性化のための課題解決に取り組む

市 農村地域では、基幹産業である農業や伝統文化等の継承が困難になりつつあると認識している。「地域おこし協力隊」事業は、農村地域活性化の有力な手段となり得る。地域特性に応じた取組により、地域の活性化を図る。

(西田副市長)

他の質問 ●三田市民病院の経営について 他1件

檜田 充 議員
市民の会



教育支援

不登校児童生徒への
対応は

議員 埼玉県戸田市への会派行政視察で、校内サポートルームの有効性を確認した。本市における校内サポートルームの設置と子どものサポーターの配置の進捗状況と効果は。

すべての学校にサポートルームを設置する

市 令和5年度の不登校児童生徒数は、小学校120名、中学校195名で年々増加している。校内サポートルームは15校で設置環境が整っており、今後すべての学校に設置する。校内サポートルームや子どものサポーターによる一人ひとりに合ったきめ細やかな支援により、子どもたちの安心感、不登校の未然防止や不登校傾向の改善につなげる。(浅野学校教育部長)

他の質問 ●学校の働き方改革について 他1件

水元 サユミ 議員
日本共産党三田市議団



介護

介護人材確保に向け、
さらなる独自支援を

議員 以前から介護人材が不足している中、令和6年度の国の介護報酬改定によって小規模事業者が影響を受け、閉鎖する事業所が増える可能性がある。介護人材の確保に向け、小規模事業者に対し、さらなる市の独自支援が必要ではないか。

今後も事業所の状況把握に努め、対応していく

市 介護報酬改定による影響は、事業所に問い合わせ、状況を把握していく。介護人材の確保は喫緊の課題と認識しており、介護職員の研修費用の一部補助なども継続しながら、今後も事業所の状況把握に努め、対応していく。

(入江健康福祉部長)

他の質問 ●三田市における医療の充実について 他1件

松岡 信生 議員
公明党



まちづくり

持続可能性社会に向け、
若者雇用の場の創出を

議員 民間有識者でつくる人口戦略会議の分析で、本市は「消滅可能性自治体」の一手手前であった。「自立持続可能性自治体」の共通傾向に、子育て支援はもとより、若者雇用の場の確保・充実が見られる。鋭意、第三テクノパークの開発を進めるべきでは。

若者の雇用促進、新たな産業拠点の創出に取り組む

市 危機感を強く持ち、子育て支援、若者の働く場の拡大や雇用創出に取り組む。第三テクノパークの重点候補地は、企業立地のニーズに適した用地を選定しており、現在、新たな産業拠点創出のため、諸課題を踏まえ、事業成立について再評価の取組を進めている。(田村市長)

他の質問 ●災害時の対応について 他2件

大西 雅子 議員
公明党



災害対策

避難所運営における
課題への取組を

議員 避難所トイレは、速やかな整備、使用者の事情への配慮、持続して利用するための清掃・衛生環境維持等の課題があり、ガイドラインが必要では。また、避難所運営の場に女性参画が少ないことからジェンダーに関する問題が生じているが、市の見解を伺う。

適正な運営に向け、課題解決に取り組む

市 トイレの清掃や衛生面の課題は認識しており、適正な運営に向けガイドラインの必要性を検証する。また、女性参画の促進には、地域の理解と協力が不可欠であるため、地域防災訓練や出前講座で女性への配慮や女性参画の必要性を周知する。(中田危機管理部危機管理監)

他の質問 ●農福連携について 他1件

福田 秀章 議員
盟政会



農業

公約の農業の担い手不足
対策への展望は

議員 現状の農業振興について、農業の担い手不足に対する取組が薄いと考えるが、今後の施策展開を伺う。

担い手確保のため、切れ目のない支援を行う

市 多様な農業の担い手の育成・確保等は喫緊の課題である。対策として、認定農業者・小規模農家へのスマート農業機械等の導入による経営継続の支援や、新規就農希望者への準備段階から営農開始後までのきめ細やかな支援を行っている。現在、地域と取り組んでいる地域計画の策定の推進など、引き続き、切れ目のない支援を行っていく。(田村市長)

他の質問 ●人口減少対策と税収・税外収入の確保等について 他1件

福本 愛 議員
日本維新の会 三田



子育て支援

産後ケア事業、
利用しやすく改善を

議員 産後ケア事業の手続きの複雑さによって利用の断念につながる事のないよう改善が必要では。また、2人目以降の育児に対する産後ケアの必要性について、市の見解を伺う。

必要とする方が適切に利用できるよう改善を図る

市 必要とする方が適切にサービスを利用できるよう、市ホームページでの情報発信について改善し、利用促進に努める。また、2人目以降の出産は、産後負担が大きいことは認識している。産後ケア事業のきょうだい同伴利用について、まずは市窓口でご相談いただくよう周知し、より使いやすい事業となるよう努める。

(松本子ども・未来部長)

他の質問 ●三田市における放課後児童クラブについて 他2件

厚地 弘行 議員
新政みらい



まちの再生

つつじが丘の再生、
まちの再生を

議員 つつじが丘の再生事業には何が必要であるか。また、人口減少や高齢化等は市全域の共通課題であり、全市に広げて行うべきでは。

地域の実情に応じた体制づくりと実践を行う

市 まちづくりの方向性等について、つつじが丘で11回の協議を重ねており、令和7年度より計画的に事業を実施する。内科医施設後については、過去の経過を踏まえ、医師会等の協力を得ながら、地域医療の充実に取り組む。再生事業は市内の共通課題であると認識しており、地域実情に応じた施策・事業が最適化できる体制づくりと実践を行う。(西田副市長)

他の質問 ●フラワータウン駅前倉庫跡の活用について 他2件